



令和3年10月1日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館  
公益財団法人竹中大工道具館

## 国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展 「木組 分解してみました」 開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）及び竹中大工道具館（館長：西村 章）は、2021（令和3）年10月13日（水）から11月24日（水）までの期間、下記のとおり、**国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展「木組 分解してみました」**を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち10月12日（火）に別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

木の性質を利用して、木と木をすき間なく組み合わせる「木組」。木組を分解してみると、職人たちの知恵や工夫、驚きの技が見えてきます。本展では、木組をバラバラに分解して普段は隠れて見えない部分を公開し、映像や建物模型などを使って木組の魅力を多角的にお伝えします。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

### 記

【会場】国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階企画展示室及び中央ホール

【会期】2021（令和3）年10月13日（水）～11月24日（水）

【開館時間】午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで。

【休館日】毎週月曜日 ※会期等は変更となることがあります。

【入館料】一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下及び65歳以上無料  
※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は20名以上。

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主催】国立科学博物館、竹中大工道具館

【協賛】竹中工務店

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【公式サイト】<https://www.dougukan.jp/kigumi/>

【お問合せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：[kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp)

※本展は、令和3年度「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業イノベーション型プロジェクト」として採択され、実施されます。

令和3年10月1日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館  
公益財団法人竹中大工道具館

国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展  
「木組 分解してみました」  
報道内覧会のお知らせ  
2021(令和3)年10月12日(火)午後5時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展「木組 分解してみました」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

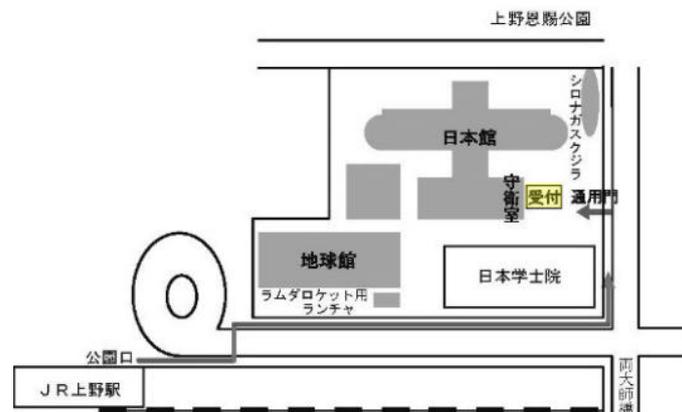
【日時】 2021(令和3)年10月12日(火)  
午後5時30分～午後7時(受付開始 午後5時～)

【会場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

日本館1階企画展示室及び中央ホール

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分  
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分  
京成電鉄上野駅から徒歩10分  
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

午後5時～ 受付開始(受付場所：日本館1階守衛室前)

午後5時30分～午後7時 報道内覧会

※本展の監修をした、国立科学博物館の研究者及び竹中大工道具館企画担当学芸員が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

## 【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

(1) 次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・ 当日体温が 37.5 度以上の方
- ・ その他、発熱、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

(2) 以下、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### ①来館時

- ・ 受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。  
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・ マスクの着用をお願いします(内覧時も含む)。
- ・ 会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。

### ②内覧時

- ・ 対人距離をなるべく 2m 以上あけるようお願いします。
- ・ 間隔調整のため、各展示は譲り合ってお覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・ 会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・ 会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

### ③来館後

- ・ 万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

## 【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は 10月7日(木)午後5時までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 [kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp) あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「木組」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね3日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

## 【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:[kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp)

## 【国立科学博物館出展資料監修者】



**国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ長**  
**前島 正裕 (まえじま まさひろ)**

専門は電気技術史です。特に幕末・明治初期において歴史に埋もれた人物や資料を掘り起こしています。また各研究機関などに残された、散逸の可能性のある資料の調査や、工学系学会における調査・顕彰活動などを通じて資料の保全に努めています。



**国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ 研究主幹**  
**久保田 稔男 (くぼた としお)**

専門は近代建築史です。鉄道営繕組織の変遷に関する研究や煉瓦を中心とした歴史建築部材に関する研究を行っています。

## 【竹中大工道具館企画担当学芸員】



**竹中大工道具館 主任研究員**  
**坂本 忠規 (さかもと ただのり)**

専門は日本建築技術史です。大工道具や加工技術の発達を通して、日本の建築がどのように変わってきたのかを研究しています。特に、昔の大工が残した設計技術書（室町末期から江戸初期にかけての古文書）を調べています。

# 広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。  
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①国立科学博物館・竹中大工道具館  
共同企画展  
「木組 分解してみました」ポスター



②法隆寺五重塔模型 (25分の1)  
所蔵：国立科学博物館



③青葉園三重塔軒模型 (10分の1)  
所蔵：国立科学博物館



④円覚寺舍利殿組物原寸模型  
所蔵：竹中大工道具館



⑤錦帯橋模型 (2.5分の1)  
所蔵：竹中大工道具館



⑥組子細工  
所蔵：竹中大工道具館

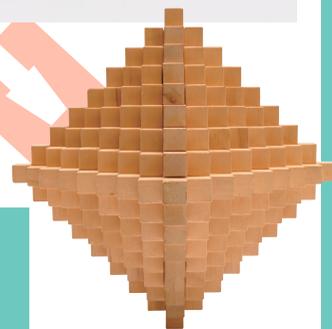
## 【記事利用の際のお願い】

- \* 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- \* 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- \* 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- \* ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当  
電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898  
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

Special Exhibition

**KIGUMI**: Revealing the Carpentry Behind the Wood Joint



[国立科学博物館・竹中大工道具館共同企画展]

# 木組

## 分解してみました



国立科学博物館 (東京・上野公園)  
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

日本館 1階企画展示室および中央ホール

会 期：令和3(2021)年10月13日(水)~11月24日(水)

開館時間：午前9時~午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで

休 館 日：毎週月曜日

入 館 料：一般・大学生630円(団体510円)(税込)

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。※団体は20名以上。

※高校生以下および65歳以上は無料。

[主催] 国立科学博物館、竹中大工道具館

[協賛] 竹中工務店

[お問い合わせ] Tel.050-5541-8600 (ハローダイヤル) Fax.03-5814-9898

[本展公式サイト] <https://www.dougukan.jp/kigumi>

[国立科学博物館ホームページ] <https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。

※入館には、**オンラインによる事前予約が必要です。**

詳細はホームページをご覧ください。



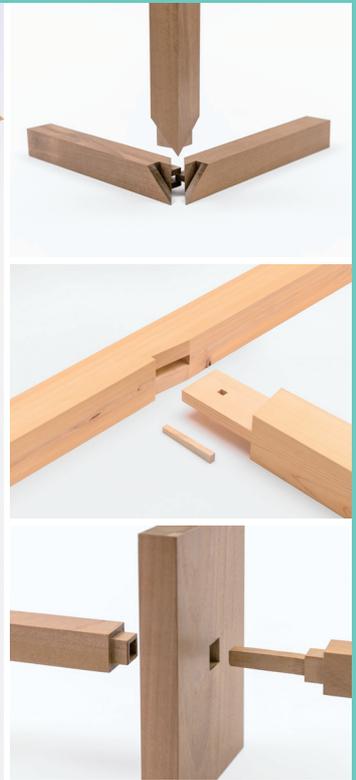
2021.10/13 WED - 11/24 WED

# 木組ってなんだ？

## 隠れている部分を大公開！



木の性質を利用して、木と木をすき間なく組み合わせる「木組」。豊かな森林に恵まれ、木に親しんできた日本人は、古くから木組の技術を使って、日常生活で使う小物入れから家具、そして住宅にいたるまで、さまざまなものを作り上げてきました。本展では、これらの木組を分解してお見せするとともに、国立科学博物館が所蔵する精巧な建築模型などを展示します。木組を分解すると、普段は隠れて見えない職人たちの知恵や工夫、高度な技が見えてきます。木組の魅力に触れ、その奥深い世界をお楽しみいただければ幸いです。



### 継手、仕口ってなに？

部材どうしを同じ方向につなげる技法「継手」と、直角など角度をつけてつなげる技法「仕口」。これら木組の基本を紹介します。

### 木組はどのように変わってきたの？

木組は、古代に縄やひもで丸太を縛ることから始まり、その後、木材を切り欠き組み合わせる技術へと発達しました。その変遷を紹介します。

### 積み上げる木組

お寺や神社の建物には独特な形をした部材の斗や肘木が使われます。規則正しく積み上げる木組の技法を紹介します。

### 繊細なる木組

木工品の中でも組子と指物には特に正確な設計と熟練の技が求められます。建築とは違う独特の木組を日本屈指の職人による作品で紹介합니다。

### 西洋の木組

曲線的で複雑な西洋の木組には日本とは異なる独自の技術が見られます。今回展示するフランスの木組と日本の木組、ぜひ見比べてください。

### 橋をつくる木組

石造りのアーチ構造はよく見られますが、それを木に置き換えた錦帯橋(山口県岩国市)は世界的にも珍しい存在です。これもまた木組なのです。

### 不思議な木組

立体パズルとなった木組を展示します。どこをどう組み合わせているのかわからない複雑な木組をじっくりとご覧ください。

## 木組 分解してみました

# KIGUMI

かつて国立科学博物館で常設展示していた「法隆寺五重塔」の模型を22年ぶりに公開します。法隆寺の五重塔といえば、現存する最古の木造建築として有名ですが、その「積み上げ構造」は1300年以上経った現代においても、高層建造物を建てる際に参考とされています。古来継承される建築構造を1/25スケールの模型でご覧ください。

### 科博所蔵「法隆寺五重塔」模型



平成11(1999)年まで常設展示されていたときの様子

蔵  
出  
し



#### アクセス

- JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線  
「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄「京成上野駅」正面口から徒歩10分  
※当館には駐車場および駐輪場はございません。

#### お問い合わせ

国立科学博物館ホームページ  
<https://www.kahaku.go.jp>  
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20  
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)  
FAX 03-5814-9898

#### 入館に際しての注意事項

- ・入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- ・入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- ・入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ※入館方法の詳細等については、国立科学博物館ホームページをご覧ください。  
<https://www.kahaku.go.jp/>

※イベント情報の詳細は本展公式サイトをご覧ください。  
<https://www.dougukan.jp/kigumi>

